

TAKASHI MURAKAMI MONONOKE KYOTO

村上隆もののけ京都

2024年2月3日(土)～9月1日(日) FEBRUARY 3 (SAT)-SEPTEMBER 1 (SUN), 2024

京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ Kyoto City KYOCERA Museum of Art Higashiyama Cube

京都市美術館開館 90 周年記念展

「村上隆 もののけ 京都」

村上隆、東京以外では初めての国内大規模個展。遂にその内容が明らかに！

会期：2024年2月3日～9月1日

現代美術の最前線で活躍する村上隆（1962年生まれ）の大規模な個展を、開館90周年を迎える京都市京セラ美術館において開催いたします。本展は、主に海外を中心に活動してきた村上にとって、国内で約8年ぶり、東京以外で初めての国内大規模個展となります。

かつて村上隆が企画した展覧会「スーパーフラット(Superflat)」は、2000～2001年にかけて日本とアメリカの各都市を巡回、展覧会とともに発表された「スーパーフラット宣言」は、現代美術シーンに重要な影響を及ぼしました。その考えは、日本の伝統的な絵画表現とアニメや漫画、ゲームに代表される大衆文化を結びつけただけでなく、戦前から戦後の日本人の感性の有り様や社会の様相、さらには資本主義経済や政治、宗教をもフラットに捉え、あらゆる手法を用いて創作活動全体に取り込むことで、多種多様な作品を生み出し、アートの価値や本質的な意味を問いかけてきました。そのキャリアは、欧米が事実上の規範となっている国際的なアートシーンに、日本から独自の視点で挑み、刺激を与えてきた営みであると言えます。

村上が活動初期から深い関心を寄せてきた江戸時代の絵師たちが活躍し、今なお、あらゆる芸能と芸術が息づき交わり合うここ京都を舞台に、新たに描きおろした超大作をはじめ、代表的なシリーズ、国内初公開となる作品など、大多数が新作となる約170点で構成される新・村上ワールド「村上隆 もののけ 京都」にぜひご期待ください。

◎開催概要

タイトル：京都市美術館開館90周年記念展「村上隆 もののけ 京都」

英題：Kyoto City Museum of Art 90th Anniversary Exhibition
Takashi Murakami Mononoke Kyoto

主催：京都市、朝日新聞社、京都新聞、NHK 京都放送局、NHK エンタープライズ近畿

クリエイティブ・パートナー：ソニー・ミュージックエンタテインメント

制作協力：NHK プロモーション

特別協力：有限会社カイカイキキ、Perrotin、Gagosian

企画：高橋信也（京都市京セラ美術館）、三木あき子（キュレーター）

会 期：2024年2月3日(土)～9月1日(日)
開館時間：10:00～18:00（最終入場は17:30まで）
休 館 日：月曜日（祝日の場合は開館）
会 場：京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ

観 覧 料：一般 2,200 円（2,000 円）大学・専門学校生 1,500 円（1,300 円）
高校生 1,000 円（800 円）中学生以下無料

※()内は前売、20人以上の団体料金

※障害者手帳等をご提示の方は本人及び介護者1名無料（学生証、障害者手帳等確認できるものをご持参ください）

※そのほか企画チケットあり

前売発売日：2024年1月5日（金）10:00
公式サイト：<https://takashimurakami-kyoto.exhibit.jp>
問い合わせ：075-771-4334（京都市京セラ美術館）

◎ 本展の見どころ

「京都」に正面から対峙する村上隆の新作・初公開作品が続々と登場！

大学で日本画を専攻した村上は、江戸時代の絵師たちから大きな影響を受け、自身の作品に取り入れてきました。それは絵画表現にとどまらず、制作方法や「カイカイキキ」の工房システムに至るまで、まさにスーパーフラットの源流といっても過言ではありません。

本展では、江戸時代に京都を中心に活躍した絵師たちの代表作を村上が独自に解釈・引用し、再構築した新作、国内初公開作品を多数展示。村上隆、京都に参上！

1 全長 13m にもおよぶ圧巻の村上版「洛中洛外図」がお出迎え

神社仏閣、祭りや遊里、歌舞伎や浄瑠璃に興じる人々など、京都のさまざまなシーンが描かれた岩佐又兵衛の「洛中洛外図屏風（舟木本）」（江戸時代・17世紀）。これを引用し、村上が書きおろした全長 13m にもおよぶ現代の「洛中洛外図」が来場者をお迎えします。

2 村上版《風神雷神図》《雲龍図》—江戸時代の奇想の絵師たちに挑む！

本展では、上述の《洛中洛外図》のほか、村上が衝撃を受けたという曾我蕭白《雲龍図》（18世紀）に挑んだ、全長 18メートルにもおよぶ《雲竜赤変図》（図版①）を国内初公開。さらに、「琳派」を代表する俵屋宗達《風神雷神図屏風》（国宝・17世紀）の村上版新作は意表を突かれるユーモラスな作品！（図版②③④※参考画像）

3 「平安京」の原点—村上が描いた、いにしへの神獣たちと鐘楼《六角螺旋堂》

東西南北を山や川、池などに囲まれ、それらを象徴する四神（青龍、白虎、朱雀、玄武）の神獣に護られた理想の地とされた平安京。本展では、この神獣をモチーフとした新作が四方を囲む村上版「平安京」が出現！中央には鐘楼《六角螺旋堂》がそびえ、「もののけ」が彷徨う不穏な気配を醸します。（図版⑤⑥）

4 「DOB 君」の往還、そして村上隆のキャラクターの進化と深化

1994年に初登場した村上の代表的キャラクター「DOB 君」。マンガやゲームのキャラクターをモチーフとするDOB君は、変幻自在に姿を変え、様々な文脈に接続してきました。(図版⑦)

モンスター化した「たんたん坊」、村上の自画像かつその極限の姿「ゲロタン」、そしてまた「DOB 君」へ。村上のスーパーフラットの概念を体現してきたDOB君の往還を辿りつつ、本展でお目見えするシェイプド・キャンバスによる新たなキャラクターたち、そして村上のアニメ作品やトレーディングカードといったポピュラーカルチャーに言及した新作の数々は、現代の「もののけ」！？

5 世界の人々を魅了する「京都」のエッセンス

1000年以上の歴史をもち、四季折々の伝統行事に彩られた平安の街。祇園祭、五山の送り火、茶道や華道といった国内外の人々に親しまれ続ける「京都」の伝統文化や、京都を主題とする文学作品などから着想して描きおろした作品の数々を初公開。村上隆が案内する「古都」への入口！

◎NEWS

十三代目市川團十郎白猿襲名披露興行で話題となった祝幕の原画が展覧会に！

市川海老蔵改め十三代目市川團十郎白猿襲名披露興行を彩る特別な祝幕は、2022年11月の東京・歌舞伎座での襲名披露興行で大きな話題となりました。この祝幕は映画監督の三池崇史氏が、“十三代目市川團十郎”のドキュメンタリー映画を撮影するなかで、「現代の絵師が描く現代の役者絵をつくってほしい」と村上に原画制作を依頼し実現したもので、今年12月1日～24日には京都・南座でのお披露目が予定されています。

本展では、歌舞伎十八番の演目がいきいきと鮮やかに描かれたこの祝幕の原画《2020 十三代目市川團十郎白猿 襲名十八番》を展示します。(図版⑧)



[図版①]

村上隆《雲竜赤変図《辻惟雄先生に「あなた、たまには自分で描いたらどうなの？」と嫌味を言われて腹が立って自分で描いたバージョン》》

2010年 アクリル、カンヴァス 363×1800cm 作家蔵

Takashi Murakami, *Dragon in Clouds - Red Mutation:*

The version I painted myself in annoyance after Professor Nobuo Tsuji told me,

"Why don't you paint something yourself for once?";

2010, Acrylic on canvas, 363 x 1800cm, Collection of the Artist
©2010 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



[図版②]

村上隆《金色の空の夏のお花畑》

2023年 デザインデータ 300×1000 cm (参考画像)

Takashi Murakami, *Summer Flower Field under the Golden Sky*,
2023, Design data, 300 x 1000 cm (Reference image)

©2023 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



左) [図版③]

村上隆《尾形光琳の花》

2023年 デザインデータ Φ120 cm (参考画像)

Takashi Murakami, *Ogata Kōrin's Flowers*, 2023, Design data, Φ120 cm (Reference image)

©2023 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

右) [図版④]

村上隆《琳派のお花と抽象的図像》

2023年 デザインデータ Φ150 cm (参考画像)

Takashi Murakami, *Kōrin's Flowers and Abstract Imagery*, 2023, Design data, Φ150 cm (Reference image)

©2023 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



左) [図版⑤]

村上隆《竜頭 Gold》

2015年 金箔、カーボンファイバー、グラスファイバー 130.8×84×84.2 cm 作家蔵

Takashi Murakami, *Dragon Heads - Gold*,

2015, Gold leaf on carbon fiber and glass fiber, 130.8 x 84 x 84.2 cm,

Collection of the Artist, Courtesy of Galerie Perrotin

©2015 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

右) [図版⑥]

村上隆《想像を超えた宇宙の活性を想起する》

2018年 プラチナ箔、カーボンファイバー 200×82×94 cm 作家蔵

Takashi Murakami, *Invoking the Vitality of a Universe Beyond Imagination*,

2018, Platinum leaf on carbon fiber, 200 x 82 x 94 cm, Collection of the Artist

©2018 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



[図版⑦]

村上隆《不思議の森の DOB くん》

1999年 展示写真「Under the Radiation Falls」

FRP、レジン、グラスファイバー、アクリル絵具、鉄 152.4×304.8×304.8 cm 作家蔵

Takashi Murakami, *DOB in the Strange Forest*,

1999, Installation view, Under the Radiation Falls

FRP, resin, fiberglass, acrylic and iron, 152.4 x 304.8 x 304.8 cm, Collection of the Artist

Photo: Alexey Narodizkiy

©1999 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



[図版⑧]

村上隆《2020 十三代目市川團十郎白猿 襲名十八番》

2020年 アクリル絵具、キャンバス、アルミフレーム 102.8×480×5.8 cm 作家蔵

Takashi Murakami, 2020 *The Name Succession of Ichikawa Danjūrō XIII, Hakuen, Kabuki Jūhachiban*, 2020, Acrylic on canvas mounted on aluminum frame, 102.8 x 480 x 5.8 cm, Collection of the Artist

©2020 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

◎村上隆プロフィール

1962年、東京都生まれ。1993年、東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。博士号取得。博士論文は「美術における『意味の無意味の意味』をめぐる」。2000年、伝統的日本美術とアニメ・マンガの平面性を接続し、日本社会の在り様にも言及した現代視覚文化の概念「スーパーフラット」を提唱した。2001年、自身が代表を務める有限会社カイカイキキを設立。2005年、「リトルボーイ展」（ジャパン・ソサエティ、ニューヨーク）にて、全米批評家連盟ベストキュレーション賞受賞。2015年、文化庁「第66回芸術選奨」文部科学大臣賞受賞。近年は、「Stepping on the Tail of a Rainbow」（ザ・ブロード、LA、2022年）、「MurakamiZombie」（釜山市立美術館、釜山、2023年）、「Understanding the New Cognitive Domain」（ガゴシアン、ル・ブルジェ、2023年）、「Takashi Murakami: Unfamiliar People – Swelling of Monsterized Human Ego」（アジア美術館、サンフランシスコ、2023年）など、世界各地で個展が開催されている。



撮影：Museum of Fine Arts, Boston
©2017 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

◎関連プログラム

約7か月間におよぶ会期中、節分の頃から春の訪れ、そして夏にかけて、日本や京都の季節ごとの伝統行事や節句にちなんだ様々な特別なプログラム、また、レクチャー、ギャラリートークなどの関連プログラムを計画しています。決定次第、ウェブサイト等でお知らせいたします。

◎カタログ

本展の魅力を凝縮したカタログを平凡社より発刊予定です。本展会場のほか、一般書店でも販売します。展示風景写真を収録予定のため、発売は2024年3月末頃を予定しております。詳細が決まりましたら、本展ウェブサイト等でお知らせいたします。

作品解説：村上隆

論考執筆：高橋信也（京都市京セラ美術館）、三木あき子（キュレーター）、
橋本麻里（ライター、エディター、甘橘山美術館準備室室長）

言語：日本語、英語

価格：未定

発行：平凡社

発行日：2024年3月末頃（予定）

◎展覧会オリジナルグッズ

「村上隆 もののけ 京都」展の特設ショップが、会場内に！本展出展の村上隆作品がデザインされた様々な展覧会オリジナルグッズや、会場でしか手に入らない限定商品を多数揃える予定です。

本件に関するお問い合わせ：「村上隆 もののけ 京都」広報事務局（共同PR内 | 担当:三井）
E-mail：takashimurakami-kyoto-pr@kyodo-pr.co.jp
TEL：03-6264-2382 / 当日の連絡先：三井携帯 090-2623-6496